

古代にはどこの国も、国民を支える農地の開拓が大変だったようで、それに伴い争いも多くあったのでしょう。



qdaarbkar aattqar nadaaqr badar aapaab k aatar aar dafaab
少し生まれた後の土地に生まれた土地を加わり小さくない土地になった。
成長して幾らか上だけだったが、後に土が加わり荒地は十分になった。

dattk aadar aaqab nadatqaar aatak dasaind qatb aadar aand
小さな契約で所有農地から人が離れ、小さく無く生まれた幾らかの土地に
土地を加え出入り地とした。小さな国の所有農地は納まった。

nadaaid qab aadaum dadaaadaqab aatqaadab qab daqdaum rbaadak
小さくない場所に地震があり所有家には小さな支配の費用がいった。
小さい人々を加え地震で自立した家は周りの人を幾らか強くした。

bbaqab bfaadab rdak bsasb saab daqdasb bfdasb
本当の地震で新しい人々の周りが強くなった。
ブスア国には集まるだけで、集まった国がダクダ国、ブフダ国となった。

sair bab aadasazi sazi daqdar dafb sdaum sdazi
日光で領土に幾らかの出入りが可能となり、可能性を集めて自立農地が争った。
集まった家は家を集める仕事だった。

faadasb badafadaum aadafatb k
フアアダ国は大きな家に従い、幾らか大きな国にするのは後だった。

baadak baadaum sand fadaum sdaum
まとまりは強く纏まった家は、国土が遠い家でも集まった家だった。

baadar aadar daqaatb nadaqdazi
纏めた農地は所有地で自立的な国だったので不自立が任務だった。

dattdasaum aadar fadazi k
決まった出入りの希望は所有農地で、辛い仕事の後だった。

nadaqaadas b aatar qaasb
自立的でない出入りで纏められた土地はクアア国となった。

umdar aar dafazi fadazi sb
色々な農地が所有地になり豊かにできたフアダジ国だった。

bfaadar bab nadaqazi fab
新しい農地の領地は無自立が可能で遠い人だった。

bdasand fab k aadar dattk dar
人の出入りではあるが、遠い人は後に所有農地を小さな契約で農地とした。

aadaqab k dar aab kaid dar
幾らかの費用は後に強くなり、全ては後の恵みの農地になった。

daaab faar fadar fab
小さいだけだが、遠い土地や遠い農地は遠い人だった。

baaaitk qaaum fadasazi sb
纏まったわずかな方向は、水の希望で、遠くても出入りが可能な国だった。

bfaadafadaum aatk fadar
新しい大きな家は時間をかけ、遠い農地ができた。

daaadaumb qaadar aab sdar
支配家の家的人是小さい農地を全て集めて農地にした。

saadar aadaumsar daqdaum sand
幾らかの農地は所有家のボスの自立家の国土だった。

baatdar aadar dafaazi
纏められた農地は所有地で豊かにすることができた。